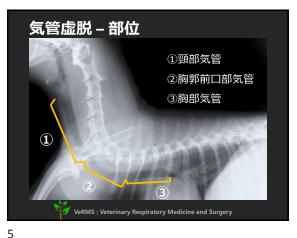


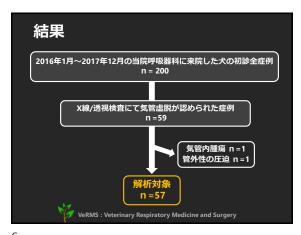
演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある 企業などはありません。 VeRMS: Veterinary Respiratory Medicine and Surgery

4



方法・材料 選択基進 · Inclusion Criteria 2016年1月〜2017年12月の犬・猫の呼吸器科に来院した犬の初診全症例のうち、 X線および透視検査の両方またはいずれかで最小気管径が最大気管径の1/2以下 の症例 · Exclusion Criteria _____ 気管内腫瘍と管外性圧迫の症例 大種・年齢・性別・気管虚脱部位(頸部/胸郭前口部/胸部) 虚脱の呼吸相(吸気/呼気)・臨床症状・随伴気道肺疾患(上/中枢/下気道) 気管支鏡検査実施の有無・気管支鏡検査所見 虚脱部位と呼吸相から気管虚脱のタイプ分類および定義づけ VeRMS: Veterinary Respiratory Medicine and Surgery









気管虚脱タイプ分類					
A	В	C			
動的頸部氣管虚脱 DCTC Dynamic Cervical Tracheal Collapse	原発性気管虚脱 PTC Primary Tracheal Collapse	気管・気管支軟化症 TBM Tracheobronchomalacia			

発生頻度
DCTC(30) 2 5 PTC(10) 2 1 2 TBM(23) 7 2 0
計57例 VeRMS: Veterinary Respiratory Medicine and Surgery

発症傾向					
	DCTC (n=30)	PTC		ТВМ	
		G: I - III (n=7)	G:IV (n=3)		
好発犬種 (頭)	マルチーズ:5 トイプードル:5 ウエスティー:1、雑様!1 MD2、ボーダーコリー:1 パグ3、ボメラニアン:4 パピヨン2、チワワ:1 ラプドール・レサパー2 フラット1ーラト・b/サンiー:1 東大:1、EC13F-ピンiー:1	ウエスティー:1 3-かか-テリア:3 イタリアン・グレイリウンド:1 ボメラニアン:1 トイブードル:1 チワワ:2、柴犬:1	3-クシャーテリ ア:2 ポメラニアン:1	チワワ:10 MD1、雑種: ヨーキー2 パピヨン:1 シーズー:1、パグ2 ボスラニアン:1 トイプードル3 ミニ:17・ピッテー:1	
年齢 _(歳) 中央値(範囲)	10 (2-15)	11 (4-13)		11 (2-14)	
臨床症状	咳嗽:14 ストライダー9、柴神:1 スターター4、鼻汁3 いびき:5 呼吸困難:2, 逆くしゃみ:1 睡眠呼吸障害:4	<mark>咳嗽:7</mark> 鼻汁:1	ストライダー:3	咳嗽:20 呼吸困難:4 異常呼吸音:5 努力呼吸:1	
VeRMS : Veterinary Respiratory Medicine and Surgery					

	DCTC	РТС		ТВМ	
	(n=30)	G: I - III (n=7)	G:IV (n=3)	(n=23)	
上気道 (%)	96.7 (29/30)	57.1 (4/7)	0.0 (0/3)	39.1 (9/23)	
中枢気道 (%)	13.3 (4/30)	0.0 (0/7)	0.0 (0/3)	4.3 (1/23)	
下気道 (%)	20.0 (6/30)	85.7 (6/7)	0.0 (0/3)	100.0 (23/23)	
VeRMS : Veterinary Respiratory Medicine and Surgery					

まとめ

・気管虚脱は「虚脱部位」と「呼吸相」で DCTC、PTC、TBMの3つのタイプに分類可能

· DCTC には上気道の随伴気道肺疾患が多く併発

PTC

GI-Ⅲ:随伴気道肺疾患あり 症状は咳嗽

G Ⅳ : 随伴気道肺疾患なし 症状はストライダー

・ TBM には全頭に下気道の随伴気道肺疾患が併発



VeRMS: Veterinary Respiratory Medicine and Surgery

考察

- ・DCTC は上気道疾患の一所見
 - → 上気道疾患に対する治療
- ・PTC はG I ⅢとGIVとで臨床像が異なる

G I - Ⅲ + 哆嗽 → 随伴気道肺疾患 G IV + ストライダー → 積極的治療

- ・TBM は下気道疾患の一所見
 - → 下気道疾患に対する治療



VeRMS: Veterinary Respiratory Medicine and Surgery

13

14